



平成29年4月6日

各位

会社名 株式会社リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 宮崎正是
TEL. 03-3440-3303

**国立研究開発法人日本医療研究開発機構による
創薬基盤推進研究事業の平成29年度委託研究開発契約書
締結に関するお知らせ**

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が公募した創薬基盤推進研究事業に採択された当社事業「GPCR を標的とする RNA アプタマー創薬基盤技術の開発」について、AMED との間で平成 29 年度委託研究開発契約書を締結することを、本日開催の当社執行役員会にて承認いたしましたので、お知らせいたします。

本事業の期間は、平成 28 年度からの最大 3 年間で、平成 29 年度は第 2 年目に当たります。平成 29 年度に受け取る委託研究開発費は、前年度と同額の税込 35 百万円（予定）であります。

なお、平成 30 年 3 月期通期業績への影響は、今後公表する平成 30 年 3 月期の業績予想に織り込む予定です。

以上

「GPCR を標的とする RNA アプタマー創薬基盤技術の開発」について

本プロジェクトは、アプタマー創薬に関する当社の技術、知見を生かして、GPCR（Gタンパク質共役受容体）をターゲットとする RNA アプタマー医薬開発の基盤技術を確立することを目指すものです。

GPCR は 7 回膜貫通型の受容体で医薬品の主要な標的ですが、細胞膜に埋もれた複雑な構造をとっているため、活性を維持した状態で単離することが難しく、分子標的薬、特に抗体医薬の開発が難しい標的ですが。人体には数百種類の GPCR があることが知られていますが、これまでに医薬品化された低分子化合物を除いては、未だ手つかずの GPCR が極めて多数存在します。

本事業では、当社が中心となり培ったアプタマー創製技術（RiboART システム）を利用し、GPCR を標的とした新しいアプタマー創製基盤を確立し、医薬品として利用可能な薬理効果と物性を有するアプタマーを開発することを目的としております。GPCR は多くの製薬企業にとって魅力的な創薬標的であるため、本事業の成功は、日本の医薬品開発能力向上に大きく貢献できると期待しています。